



新潟県

# 教育月報

3月号

第818号  
平成30年3月1日発行  
編集人、発行人  
新潟県教育委員会

< 今月号の記事 >

- 1 : 教育ニュースライン
- 2 : 地域の自然や人材を活用した特色ある環境教育の取組
- 3 : 知的障害特別支援学校における職業教育の充実
- 4 : インフォメーション

	対象校種
----- P 1	全種
----- P 2 ~ 3	小中
----- P 4 ~ 5	全種
----- P 6 ~ 7	全種

## 教育ニュースライン

県教育に関する最新ニュースをお知らせします。

### 「にいがた妙高はね馬国体」が開催されました

2月25日(日)から28日(水)の4日間、第73回国民体育大会冬季大会スキー競技会「にいがた妙高はね馬国体」が妙高市で開催されました。

25日の開始式では、全国から来県する選手団の皆さまを歓迎するため、会場内に妙高市内の小学生たちが製作した応援メッセージ旗が掲出されたほか、歓迎アトラクションとして、地元の伝統芸能「妙高原須弥山太鼓」や妙高原中学校吹奏楽部の皆さんによる「マーチング」が披露されました。

また、大会では、ジャイアントスラローム、スペシャルジャンプ、クロスカントリー、コンバインドの4競技が行われ、各都道府県のトップアスリート達による熱戦が繰り広げられました。



## 地域の自然や人材を活用した特色ある環境教育の取組

### 義務教育課

#### はじめに

県では、持続可能な社会を構築するために、環境教育を中核としたE S D (Education for Sustainable Development 持続可能な開発のための教育)を推進し、環境の保全やよりよい環境の創造に貢献できる実践的な態度と資質能力を育成しています。

小学校や中学校では、総合的な学習の時間や特別活動などの時間を中心にして、身近な自然環境を対象とした体験活動や地域の人材や施設を活用した環境教育に取り組んでいます。また、自然だけでなく、文化や産業を含む地域の重層性を踏まえた教育活動も展開されています。

本号では、地域の自然や人材を活用した小・中学校の特色ある環境の取組について紹介します。

#### 南魚沼市立第二上田小学校の取組

第二上田小学校では、環境教育を柱にした「誰でも来たくなる学校づくり」を目指しています。環境教育は、地域の生活とかかわっているため、学校と地域の連携を作り出します。連携を通して、教師は地域を学び、子どもの理解を深めることができます。結果として、地域からの信頼がより厚くなります。また、子どもは、地域の自然や人にかかわる喜びを感じ、自己有用感を高めています。環境教育の取組が、学習意欲の向上や不登校ゼロに結び付いていると考え、様々な実践をしています。

#### 1 ねらいを見直した「上田の宝探し遠足」

環境教育の視点で遠足のねらいを見直しました。道中で見付けた動植物や人工物などの地域の宝を写真に撮ります。子どもなりの感性で宝と思った物はなんでもOKです。1年生も6年生と対等に参加しています。それぞ

れが見付けた宝を印刷し、宝マップにまとめ、全校で認め、共有し合います。自分の見付けた宝を友達が認めてくれるとうれしくなり、大きな達成感や満足感を得ています。

「みんな、つながってすべろう。」河川敷公園の坂をすべる子どもがいました。自然を楽しむ子どもは、遊びの天才です。全校宝探し遠足では、このような遊ぶ姿を見守るのが、教師の務めであると考えています。



【坂滑りを楽しむ子ども】

#### 2 学習意欲を高める発表

子どもに発表の場を知らせることで、学習意欲が高まります。年度を越えて継続することで、活動や発表の質も更に向上します。

当校は、地域行事やこどもエコクラブを利用して発表しています。例えば、地元NPO主催の「鯉のぼり設置事業」の手伝いを学校から申し入れました。地域の専門家によるデザインを元に、子どもが作った「鳥のぼり」を一緒に飾りました。歌やクイズ、親子エールで設置者を応援しました。当然のことながら、主催者は褒めてくれます。自分たちが作った鳥のぼりを眺めながら豚汁とおにぎりをごちそうになり、充実感を味わいました。



【全国こどもエコクラブ交流会 鳥のぼり紹介】

#### 3 地域の人材を活用するネットワーク

地域人材を活用するために、地域を知る仕組みや働き掛けが必要です。当校は地域教育コーディネーターの設置、上田ふるさと協議





会やNPOの会議への参加を通して、互いの要望を出し合い、連携に取り組んでいます。

例えば、民生児童委員の協力により、月1回の土曜学校開放事業をしています。通常の読み聞かせや自主学習、遊びの他、日本一小さいトンボの見学会、地元の植物を練り込んだ特産品「からむし麺」の試食会などを行いました。このように、地域の方と学校の願いが共有された体験会が実施できました。

(文責 南魚沼市立第二上田小学校)

### 三条市立栄中学校の取組

栄中学校では、今年で15年間継続して、学区内にある栄翔林<sup>えいしょうりん</sup>でブナ植樹に取り組んでいます。当初この活動は、栄ブナの会が実施していましたが、やがて地元の小学校へ広がり、その後栄中学校にも活動の輪が広がり、平成15年度に栄中学校のブナ植樹が始まりました。当初は1学年全員で植樹していましたが、充足してきたことから、数年前より生徒会緑化委員会の活動の一環として取り組んでいます。

#### 1 地域とともに進めるブナ植樹活動

ブナ植樹活動のねらいは、ブナ林を守り育てる活動を通して、環境と森林資源の重要性を理解すること、そして、地域の人々（栄ブナの会、栄ライオンズクラブ）との共同活動を通して、地域の一員としての自覚と誇りをもつことです。

毎年10月に行うブナ植樹はまず、事前に打ち合わせをして、植樹の本数や参加人数等について



【苗木の受け取り】

確認をして活動を進めます。当日は緑化委員会生徒と、各学級で募集したボランティア生徒を合わせて36名の生徒が参加しました。栄ブナの会の20名の皆様から指導していただき、斜面に穴を掘り、苗を植え、支えをつくるなど一本一本大切に植えることを学びました。

#### 2 体験を通して森林資源の大切さを学ぶ

栄翔林には毎年植樹してきたブナの木が大きく育っています。ブナ林を広げるために今年植えた40本の苗木も、大きくなるよう丁寧に植えることができました。

##### 【生徒の声】

自然や地域の人々と関わるのがとても新鮮で楽しかったです。今回の体験を生かして、森林資源を守ることの大切さを実感するとともに、これからもブナの会の皆さんと一緒に活動を続けていきたいです。

この15年間の活動でブナの木が成長して、豊かな里山に変わってきています。生徒は



【斜面での支えの打ち込み】

それを見て体験し、植樹の大変さを知るとともに、緑を愛し、守っていく大切さに気付くことができました。今後はブナの会の皆様のお力を借りながら、維持、広げていくために更に継続していきたいと考えています。

(文責 三条市立栄中学校)

#### おわりに

各校が創意工夫を生かした特色ある環境教育を進めていくためには、地域や学校の実態に即し、それらの特色を生かした適切な教育課程を編成（全体計画等）、実施、評価し、改善を図ることが重要です。また、指導を外部講師に依頼する際には、任せっきりにするのではなく、事前の打合せを行い、共通理解を図った上で、児童生徒の課題に沿った活動を展開するなど、教師側の工夫と配慮も重要です。今後もそれぞれの学校で、特色ある環境教育を展開し、児童生徒の環境に対する見方や考え方、環境に働き掛ける実践力を育成してください。

# 知的障害特別支援学校における職業教育の充実

## 義務教育課

### はじめに

知的障害特別支援学校では、自立し社会参加する力を育むため、小学部から高等部まで発達段階に応じ、一貫性を重視した指導・支援を行っています。

本号では、高等部卒業後の自立した生活に大きくかかわる職業教育について説明します。

### 一貫性を重視した職業教育

特別支援学校学習指導要領の教科「職業」では、次のように目標を設定しています。

勤労の意義について理解するとともに、職業生活に必要な能力を高め、実践的な態度を育てる。

特別支援学校高等部学習指導要領第2章各教科「職業」より

A校はこの目標を達成するために、図1のように、職業教育に係り、6項目からなる育てたい力を設定し、小学部から高等部まで一貫した指導・支援を行っています。

職業教育に係る育てたい力の設定（6項目）			
項目	○身辺自立	○コミュニケーション	○家事・労働
主な内容	・職場での清潔な身なり ・食事、排泄	・職場での上司や同僚とのコミュニケーション	・清掃 ・作業技能の習得 ・働く意欲の向上 ・金銭管理
項目	○集団参加	○社会資源の利用	○余暇
主な内容	・心の安定 ・規則の遵守 ・協力	・公共交通機関の利用 ・施設利用のマナー	・仕事後の楽しみ ・休日の過ごし方

【 図1 A校における職業教育に係る育てたい力 】

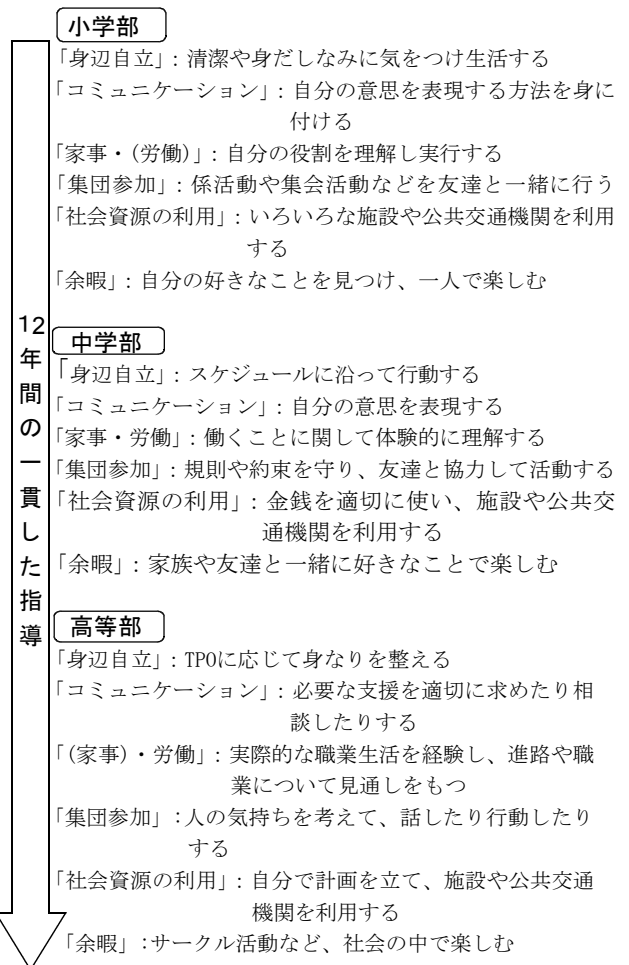
これらの育てたい力を身に付けるために、各学部は発達段階に応じた学習活動を設定しています。6つの項目のうち「家事・労働」について主な活動を紹介します。

小学部では、係活動、給食当番、清掃などの活動をとおして、友達や教師と一緒に楽しみながら活動する力の育成を図っています。

中学部では、製作活動をとおして自分の役割に責任をもち友達と協力して進んで仕事に取り組む力を育成するとともに、労働に対する基本的な技能や意欲、態度を育てています。

高等部では、清掃、喫茶、介護、流通、農耕等の作業班に分かれて行う作業学習を中心に、働く意欲や態度、知識、技能を育てています。

このように、A校では、小学部から高等部まで図2のように職業教育の系統性を図り、一貫した指導・支援を実施しています。



【 図2 A校における職業教育の流れ 】



## 進路実現を図るために

各校は、地域の状況等を踏まえた職業教育をとおして、生徒の進路希望が実現するよう努めているところです。

今後に向けた課題の1つとして、企業就労を希望する生徒の進路実現を進めることが挙げられます。そのためには、企業が求める力のうち、就労の可否のポイントとなりやすい「状況に応じたコミュニケーション」の力の向上が求められています。また、障害者雇用企業の開拓を進めるため、就労を希望する生徒の理解を図ることが重要であるととらえています。

次にこの2点についてふれます。

### 1 コミュニケーション力の向上の実践

企業が求める、状況に応じたコミュニケーション力を培うには、問われていることや説明しなければならないことを判断し、その判断に沿った内容を過不足なく話すことを指導することが必要です。

#### (1) B校の実践：事前に話す事柄をチェック

問われたことに対して、適切に答えるためにワークシートを用意し、あらかじめ答える順番や内容を確認します。徐々にワークシートの項目を減らし、書かなくても済むようにしていきます。この学習をとおして、順序立てて分かりやすく話す力を育てています。

#### (2) C校の実践：自分の話したことを可視化

ファシリテーショングラフィック（発言を記録・図式化）を活用することにより、生徒が話したことを一つ一つ確認し、十分な回答であったかどうか評価をします。不足の場合は、その理由を生徒と一緒に考えて、もう一度正しく話す練習を通して、状況に応じた話し方が身に付くようにしています。

### 2 障害者雇用の理解促進及び企業開拓

生徒が就労するにあたっては、生徒個々の技能や意欲の向上を図るとともに、企業の障害者理解や企業とのマッチングを図ることが必要です。特別支援学校では近年、企業等を

対象とした学校見学会（説明会）を開催し、障害者雇用の理解啓発を推進し、開拓を図っています。今年度行われた取組を紹介します。

#### (1) D校の実践：マッチングサポートフェア

実際に企業の採用担当者に来校いただき、生徒が自分自身をアピールする面談会を実施しました。

生徒にとっては、当日を迎えるまでの事前練習を繰り返すことにより、積極的に自分をアピールしようという意欲の向上が図られるとともに、企業側にとっては、授業の様子や自己アピールの様子により、目の前の生徒の雇用についての具体的な検討につながりました。



【企業の採用担当者に自己アピールをしている生徒】

本取組は、企業が直接生徒と面談することで生徒の就労意欲を感じ取ることができ、このことが障害者雇用につながる機会となった例です。今後も、企業の担当者に直接生徒がかかわり、企業側に理解していただく機会を多く設定することが、特別支援学校生徒の就労実現に大きくつながるものと考えます。

## おわりに

生徒の進路希望を実現するためには、何よりも生徒自身が卒業後の自分の姿を想像し、見通しや目的意識をもって、職業の学習をはじめとして日々の様々な活動に取り組むことが必要であり、早期からの系統的な指導の積み重ねが重要となります。

今後も先進的な取組や労働機関等の情報について随時共有が図れるよう、県教育委員会と特別支援学校の連携を推進し、職業教育の一層の充実に努めてまいります。



# インフォメーション

## ●県立近代美術館（長岡市） 企画展 「ディズニー・アート展 いのちを吹き込む魔法」

ミッキーマウスの誕生作から「モアナと伝説の海」まで、約90年分のディズニー・アニメーション作品の原画など約500点を展示。想像力とその時代の最新技術の融合によって生み出されてきた、いのちを吹き込む技＝“魔法”を解き明かし、ウォルト・ディズニー・アニメーション・スタジオの活動の軌跡を紹介します。



《アナと雪の女王》より 2013年  
© Disney Enterprises, Inc.

- 会場 県立近代美術館 企画展示室
  - 会期 開催中～5月13日(日)
  - 休館日 月曜日(ただし3月26日は開館)
  - 開館時間 午前9時～午後5時  
(観覧券の販売は午後4時30分まで)
  - 観覧料 一般1,500円(1,300円)  
高校・大学生1,300円(1,100円)  
中学生以下無料
- ※( )内は有料20名以上の団体料金です。  
 ※障害者手帳、療育手帳をお持ちの方は観覧料が免除になります。受付で御提示ください。  
 ※企画展開催中は、企画展観覧券でコレクション展も御覧いただけます。

### 関連イベント

- ◆長岡少年少女合唱団ミニコンサート  
@ディズニー・アート展
- 日時 3月18日(日) 午前10時30分～11時  
(開場 10時)
- 会場 県立近代美術館 講堂
- 演奏 長岡少年少女合唱団
- 料金等 入場無料 定員165名  
(主催 (公財)長岡市芸術文化振興財団)

県立近代美術館では学校向けの教育普及プログラムを用意しています。詳しくはこちらを御覧ください。

県立近代島美術館  
 住所 長岡市千秋3丁目278-14  
 TEL 025-290-6655  
 URL <https://banbi.pref.niigata.lg.jp/>

## ●県立万代島美術館（新潟市） 企画展「古代アンデス文明展」



図版：《象嵌のマスク》  
ペルー文化省・国立博物館所蔵  
撮影：義井豊

南米大陸西岸に栄えた古代アンデス文明の環境は、世界の他の文化に類を見ないほど多様でした。南北の広がり4000キロメートル、標高差は海岸の砂漠地帯から人が住む限界の高地まで4500メートルにも及び、それぞれの環境に多彩な文化が盛衰を繰り返しました。本展では、地上絵で知られるナスカや黄金の都といわれたシカンなど、アンデス文明を代表する9つの文化を、優れた意匠の土器、織物、黄金製品やミイラなど、選び抜かれた約200点の貴重な資料を通して紹介します。アンデスに人類が到達した先史時代から、16世紀のスペイン人によるインカ帝国征服まで、約1万5千年の文明史をご覧ください。

- 会期 3月21日(水・祝)～5月6日(日)
- 休館日 4月16日(月)
- 開館時間 午前10時～午後6時  
(観覧券の販売は午後5時30分まで)
- 観覧料 一般1,300円(1,100円)  
高校・大学生1,100円(900円)  
中学生以下無料

※( )内は有料20名以上の団体料金です。  
※障害者手帳、療育手帳をお持ちの方は観覧料が免除になります。受付で御提示ください。

### 会期中のイベント

- ◆講演会「古代アンデス文明 その誕生から滅亡まで」
- 日時：3月21日(水・祝) 午後2時～3時30分
- 会場：NICOプラザ会議室(万代島ビル11階)
- 講師：篠田 謙一氏(国立科学博物館副館長 兼 人類研究部長)  
※聴講無料・申込不要・先着120名
- ◆「#アンデスってなんです？」クイズ&スタンプラリー
- アンデス文明にまつわるクイズに答えながら、スタンプを集めよう！
- 会場：展示室 ※申込不要・要観覧券

3月5日(月)から3月20日(火)は展示替えのため休館します。

県立万代島美術館  
 住所 新潟市中央区万代島5-1 朱鷺メッセ内  
 TEL 025-290-6655 万代島ビル5階  
 URL <https://banbi.pref.niigata.lg.jp/>



● 県埋蔵文化財センター（新潟市）  
**新潟県埋蔵文化財センター講演会**  
**第10回「縄文の墓から探る精神文化」**

新潟県の縄文時代の墓は土葬や火葬、土坑墓や配石墓、副葬品など様々な種類があります。県内にはどのような墓があり、どのような特徴があるのかを明らかにし、その葬法や副葬品を通じて、彼らの精神文化を考えます。

- 期 日 3月18日（日）
- 時 間 午後1時30分～3時30分
- 会 場 県埋蔵文化財センター
- 参加費 無料
- 講 師 加藤 元康（当センター）
- 定 員 80名（定員になり次第締切）
- 申込み 電話・FAX・メールで3月16日（金）までにお申し込みください。



上越市炭山遺跡の配石墓

県埋蔵文化財センターでは学校向けの教育プログラムを用意しています。詳しくは[こちら](#)をご覧ください。

新潟県埋蔵文化財センター  
 住所 新潟市秋葉区金津93番地1  
 TEL 0250-25-3981  
 E-mail niigata@maibun.net  
 URL <http://www.maibun.net>



まいぶんちゃん

※ PDFファイルでご覧の方は、下線部（Webページアドレス）をクリックすると、直接該当Webページへジャンプしますので御活用ください。Webページでも御覧ください。バックナンバーも御覧になれます。「教育月報」で検索してください。

教育月報



発行所 新潟県教育庁総務課  
 所在地 〒950-8570  
 新潟市中央区新光町4番地1  
 電 話 025-280-5587 F A X 025-285-3766  
 E-mail ngt500010@pref.niigata.lg.jp  
 Web版URL <http://www.pref.niigata.lg.jp/kyoikusomu/>  
 \*\*本紙に関する御意見がありましたら、お寄せください\*\*  
 <無断転載を禁ず>